

平成28年度
特集展示

悠久の時のながれ

—湖南の縄文1万年—



豊仙寺遺跡出土 水晶製石匙

平成28年12月10日(土)～平成29年1月29日(日)

休館日: 12/12・19・26・28～1/4・10・16・23

栗東歴史民俗博物館第2展示室 開館時間 9:30～17:00

関連行事

記念講演会

①湖岸に生きる縄文人～母なる琵琶湖の恩恵～

講師(公財)滋賀県文化財保護協会 小島 孝修 氏

②縄文人のエコロジーとエコノミー

～ジョウモン・ニュータウン開発の秘密～

講師(公財)滋賀県文化財保護協会 瀬口 眞司 氏

1月21日(土) 13:00～(資料代200円)当日受付

会場: 栗東歴史民俗博物館 研修室

展示解説会

1月14日(土) 14:00～

栗東歴史民俗博物館

<http://www.city.ritto.shiga.jp/hakubutsukan/>

滋賀県栗東市小野223-8

TEL077-554-2733 FAX077-554-2755



特集展示 悠久の時のながれ — 湖南の縄文1万年 —

平成28年12月10日(土)～平成29年1月29日(日)

縄文時代の始まりは、今から1万5000年ほど前、長く続いた氷河期がおわり、急激な気候の変化が生じた時代でした。それ以降、温暖化がすすむ中、人々は狩猟・採集を中心とした生活を、今から2千数百年前までの長きにわたり日本列島の各地で繰り広げました。世界最古の土器のひとつといわれ、この時代を特徴づける縄文土器や、石や動植物を素材に作られた道具など、遺跡から出土する数々の資料は、当時の人々の暮らしが多様であったことを示しています。

近江(滋賀県)でも多くの縄文時代の遺跡が発見されていますが、今回の展覧会では、赤野井湾遺跡(守山市)、津田江湖底遺跡・志那湖底遺跡(草津市)、粟津湖底遺跡(大津市)、霊仙寺遺跡・下鉤遺跡・辻・高野遺跡(栗東市)などの湖南地域の遺跡から出土した資料を中心に展示をおこない、縄文時代の人々の暮らしの足跡をみていこうとするものです。

主な展示品

- | | |
|---------------|-----------------|
| 守山市・赤野井湾遺跡出土 | 縄文土器・装身具・石器 |
| 草津市・津田江湖底遺跡出土 | 縄文土器・石器 |
| 大津市・粟津湖底遺跡出土 | 縄文土器・装身具・骨角器・貝殻 |
| 栗東市・下鉤遺跡出土 | 縄文土器・装身具・石器 |
| 栗東市・霊仙寺遺跡出土 | 縄文土器・石器 |



草津市・津田江湖底遺跡出土 縄文土器



守山市・赤野井湾遺跡出土 縄文土器

栗東歴史民俗博物館 平成29年2月・3月の催し物

次回の展示

小地域展「霊仙寺の歴史と文化」

会期：3月11日(土)～



霊仙寺遺跡出土 弥生土器

RISS ロビーコンサート27

ピアノトリオ

～冬の日だまりの中で～

日時：2017年2月26日(日)

14:00～(1時間程度)

場所：栗東歴史民俗博物館 ロビー

出演者：待谷 翠(ヴィオラ)

辻 真理(ピアノ)

西川 彩乃(チェロ)

